



園だより

ご入園・ご進級 おめでとうございます！

皆様にはますますお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

この度、4月1日付をもちまして、永山伸樹園長先生の後を受け、園長に就任いたしました大友まゆみと申します。浅学非才の身でございますので、今後も前園長先生には相談役として幼稚園においていただき、ご指導を受けながら、伝統ある聖和幼稚園のため、心新たにし重責を果たす所存でございます。

さて、待ち望まれた春の日、お子様のご進級・ご入園おめでとうでございます。

聖和幼稚園は、昭和29年4月に開園し、今年で67回目の春を迎えました。

今年は、桜の開花宣言もこれまでにないほどのスピードで満開となったものの、新型コロナウイルスの感染が拡大したこともあり、「花見」をすることができないなど、異例続きの「春」となっています。

聖和幼稚園職員は、園内には子ども達の元気な声が満ちあふれ賑やかな、活気ある幼稚園の日々が始まることを期待し、お子様方が元気に楽しい園生活を送ることできる準備をして、お待ちしております。進級のお子様たちは、一つ大きくなった喜びと、お友達や先生方との再会を心待ちにしていたことと思います。

そして、入園されるお子様たちは、これから始まる園生活に少しの不安と戸惑いを感じつつも、期待に胸を膨らませていたところかと思えます。しかし、当園としましては、日々、新型コロナウイルスの感染が広がりを見せる中で、お子様方及び保護者の皆様の安全を確保することが最優先と考えております。新型コロナウイルスが早く終息し、子ども達が安全に楽しく幼稚園生活を迎えられることを願っています。

幼稚園再開が叶ったその時には、「あそびがいっぱい、かがやくひとみ」を合い言葉とし、「楽しい幼稚園」「夢いっぱい幼稚園」「明日も行きたい幼稚園」となるよう、職員一同頑張りたいと思います。

これまでの年度始めとは違い、保護者の皆様にもご不便おかけいたしますが、どうぞ、今年1年間よろしく願い申し上げます。

園長 大友まゆみ

【仏教保育・今月の目標】

がっ しょう もん ぼう
合 掌 聞 法
「素直な心を育てよう」

【学年のねらい】

- 満3歳 ◎泣かないで登園する。
- 年少 ◎喜んで登園し、遊びを楽しむ。
- 年中 ◎合掌、礼拝の生活習慣を身につけながら園生活を楽しむ。
- 年長 ◎進級した喜びと自覚をもって生活する。

園医さんからのお話

～新型コロナウイルス感染症拡大に注意～

県内、特に仙台市内で連日、新型コロナウイルスの感染確認が相次いでいます。お母さんもお子さんもお不安とストレスの続く毎日を送られていて大変だと思います。しかし、仙台市でもこの2～3週間が一気に爆発的な流行になるかどうかの瀬戸際です。どうか家で我慢して過ごしてください。そと遊びは近所の公園に短時間行く程度にして、あまり他の人達と接触しないようにしましょう。外出時はマスクをし、帰宅後は石鹸でしっかり手洗いをしたり、アルコール消毒することが大事です。食料品や生活必需品はスーパーの混まない時間に行くなどの配慮が必要です。イタリアやスペイン、アメリカのようにならないよう、自分や自分の大切な家族を守るために、大人も子供も今は我慢、自粛しましょう。

永井小児科医院
院長 永井幸夫

幼稚園からのお願い

手洗い・うがいの指導

- ・幼稚園では登園後や遊びの後、昼食前などに手洗い、うがいをきちんと行うことで感染を予防する方針です。ご家庭でも習慣として、こまめな手洗い、うがいを心がけてください。また、手洗い、うがいの方法についてはご家庭できちんと指導を行っていただきますよう、お願いします。



マスク着用の指導

- ・幼稚園再開後もコロナウイルスが終息するまでは、マスク着用が原則となります。これまでの生活では、マスクをつけ慣れていないお子様もいらっしゃると思いますが、登園の際にはきちんとマスクの着用ができるようにご家庭で指導、練習を行っていただくよう、お願いします。



③ 密を避けた行動

- ・感染リスクの高い条件として3密があげられています。
1、密閉した空間 2、人の密集する場所 3、密接した距離
外出やご家庭でお過ごしの際は、こちらに注意しながら行動していただきたいと思います。

花び祭り



4月8日は、お釈迦さまの誕生日です。一般的に「花まつり」といわれています。

お釈迦さまの記念日には三つあり、三仏忌と言われています。その中の一つが「花まつり」で、二つ目はお釈迦さまが悟りを開かれた日、「成道会」（じょうどうえ）、三つ目はお釈迦さまがお亡くなりになった日の「涅槃会」（ねはんえ）です。

お釈迦様のお母様が出産のため、ご自分の実家へ向かわれる途中、ルンビニー園という綺麗な花が咲き乱れる花園へ差し掛かった時、美しい花の下に至り、たれさがった花の枝を取ろうとした時に、産気付かれ、お生まれになったとされています。

生まれ落ちるやすぐに七歩あるいて立ち止まり、「天上天下唯我独尊（天にも地にも我一人）」と唱えられたと言われています。

はなまつりは、なんで花御堂でお釈迦様に甘茶をかけるの？



お釈迦様が生まれになったとき、空から甘い甘露の水が落ちてきたとされています。生まれた後、その水で綺麗に体を洗い、清めたそうです。また、花御堂はルンビニーの花園を表現しているものです。その時の様子から、仏教保育を行う幼稚園では、4月8日になると花御堂を飾り、子ども達が甘茶をお釈迦様にかけて、手を合わせています。ちなみに甘茶は、お砂糖が入っていないのになぜか甘いのです。しかも、日常では味わえない不思議な味です。色々なところで買うことができるので、機会があれば、飲んでみてくださいね。

天上天下唯我独尊（天にも地にも我一人）ってどういう意味？

天上天下唯我独尊は、てんじょうてんげゆいがどくそんと読み、子ども達には、「天にも地にも我一人」と伝えています。では、「天にも地にも我一人」とはどういった意味なのでしょう。意味としては、自分という存在は誰にも変わることをできない人間として生まれ、この命のまま尊いということです。そこからは、この世に唯一無二のかけがえのない自分という存在がオンリーワンだということに目覚めれば、他人と比較して傷つく必要など全くないものであるということです。少し難しい話になりますが、この機会にお釈迦様のことに関心を深めてみてください。



♪お家でやってみよう♪

す・げ・え 挨拶！



挨拶は人間関係の基本です。子ども達に挨拶の大切さを知らせる際、「挨拶は心の握手だよ」と話すことがあります。握手をしようと手を出しても、相手が嫌々出したり、手を出してくれなかったりすると悲しいですね。挨拶で心と心をしっかり繋いで、お友達と楽しく遊べる子どもに育ててほしいものです。

また、前園長の永山先生は、『す・げ・え 挨拶』を子ども達によく話してくれていました。

す…進んで！

げ…元気に！

え…笑顔で

ご家庭でも、「おはようございます」、「おやすみなさい」等、基本的な挨拶をしっかりとやってみましょう。

長くお休みが続くと、どうしても生活のリズムが乱れてしまいますね。

幼稚園で子ども達が充実した生活を送るためには、整ったリズムが重要です。リズムが乱れていると、じっくりと集中して活動に取り組んだり、活発に体を動かして遊んだりすることが難しいお友達も出てきます。

ここで幼稚園からの提案です！

朝に起きたら、お子様とお弁当を一緒に作ってみてはいかがでしょうか(幼稚園で言えば、遊び、活動にあたりますね)一緒にお弁当を作ることで、お昼が楽しみになり、リズムを整える一つのツールになりますね。また、食育や幼稚園でお弁当を食べる練習にもなるでしょう。

是非、ご家庭でやってみてくださいね(~/)

生活リズムを大切に！ お弁当はいかが？！

